

自主防災組織をつくりましょう

自主防災組織とは？

普段、火災や災害が起きたときは、消防をはじめとする防災関係機関がすぐに駆け付けますが、東日本大震災のような大災害が発生したときはどうでしょうか。

道路や水道が損壊したり、多くの現場で火災が発生したりすると、消防をはじめとする防災関係機関がすべての現場にいち早く駆け付けることは困難です。

そんなとき、地域の人たちが集まって行う初期消火、負傷者の救助などの活動が被害の防止・軽減のために重要になってきます。

自主防災組織とは、災害が起こったとき、地域の皆さんが「自分たちの地域を自分たちで守る」ために自主的に防災活動を行う組織のことです。



すべての町内会に自主防災組織を

自主防災組織は、主に町内会単位で結成され、市内にある165町内会のうち、半数を超える94町内会が結成しています。

市ではさらに多くの町内会に自主防災組織を結成していただけるよう、さまざまな支援を行っています。



市の支援は？

市では、新たに自主防災組織を結成する際は、ハザードマップの作成費用の助成や、世帯数に応じて、ヘルメット・担架・ジャッキなどの救助器具や倉庫などの防災資器材を助成します。また、地域の皆さんに自主防災組織を知ってもらうための出前講座や、ハザードマップや規約、組織図作成のアドバイス、訓練での防災講話なども行います。お気軽に相談ください。



酒えもん

地域防災力向上のため、自主防災組織の結成に向けてご検討ください。

問 市民安全課防災係 ☎355-6491

3月1日(木)～7日(水)は 全国一斉春の火災予防運動

まだまだストーブなどの暖房器具を使用する機会が多く、空気が乾燥し火災が発生しやすくなります。火の用心に心がけましょう。

住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

- 寝たばこは絶対しない
- ストーブは燃えやすいものから離れた場所で使用する
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災報知器を設置する
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる

問 消防本部予防課指導係 ☎361-1617
塩釜消防署 ☎361-1634

第59回 水道週間懸賞募集

受賞 おめでとうございます

日本水道新聞社などの主催により「第59回水道週間懸賞募集」が行われ、全国各地から約8千点の応募がありました。

本市からは、本市主催の「第59回水道週間啓発コンクール」に入選した作品18点を応募したところ、標語の部で準特選1点、作文の部で入選1点の合計2作品が選ばれました。

受賞者は次の通りです。

標語の部

準特選 浅野圭佑さん(二小1年)
「ぼたぼたと もったいないよ みずのこえ」

作文の部 小学校低学年

入選 佐藤陽里さん(玉小3年)
「水とわたしたちの暮らし」

問 水道部業務課企画総務係 ☎364-1415

